



「菊間県」って、なんだ…？

～ 菊間の歴史について調べてみました ～

菊間在住 匿名希望さん からの投稿

菊間は昔から繁栄していたようで、現在でも数多くの古墳がみられます。

江戸時代を過ぎ、明治時代では、元年8月、菊間藩主水野忠敬の所領になり、翌年6月、菊間藩となり、それに属した藩主の水野忠敬が、短い期間でしたが初代藩知事となりました。

その2年後の明治4年7月、廃藩置県により、現在の菊間地域は「菊間県」となり、同年12月には「木更津県」となりました。現在の「千葉県」に属したのは明治6年6月のことでした。

現在の菊間忠霊塔付近に、菊間藩の藩庁跡があったといわれています。

※ 内容は一般投稿によるものです



読者投稿を募集しています

写真や文章での投稿、なんでも結構です。気軽にぜひ、ご応募下さい。

- ※ 投稿者は市内在住の方に限ります。
(投稿内容は制限いたしません)
- ※ 住所・氏名・電話番号をご記入の上、センター窓口または郵送にて投稿下さい。
(掲載は匿名でも可能です)
- ※ 写真のデータ形式は「OO.JPG」、「OO.PNG」または「OO.GIF」でお願いします。
データ形式でお持ちいただけない場合は、印刷したもので結構です。
- ※ 原則として、投稿いただいた写真や文書の返却はいたしませんのでご了承下さい。
- ※ 掲載是非は広報部会議をもって決定いたします。

朝市5月の予定
14日(土)・28日(土)8時30分開始

場所:センター中庭 (雨天時は1階ロビー)

一歩散策

地域の歴史 82

古代から川の近くに人々は生活し、村田川の流域も多くの史跡が残されています。河口は千葉市と市原市に分かれていて、上総下総の国境でした。

千葉市中央区塩田町に学問の神様、菅原道真を祀っている「塩田天満宮」があります。寛政12年(1800)の「明細帳之控」に社地一反九畝八歩が賦課されていないことが記載されています。



以前、この近隣では、大津波によって漂着した菅公の木造を守護神として祀っていました。創建は不詳ですが、これを明治初期に合祀したと由緒は伝えています。

境内には、文政元年(1818)に石鳥居、同13年に御手洗鉢が造立されています。天保12年(1841)に造立された狛犬は、江戸本所にあった伊豆屋八右衛門と神田紀伊屋長兵衛が奉納しています。

京葉工業地帯の建設に伴い、塩田町が海的生活から離れた記念の石碑も建てられ、時代の変遷が伺えます。

広告掲載募集中

センターだよりでは有料広告の掲載を募集しています。ご希望の方は事務局(☎42-3424)までお問い合わせ下さい。

掲載回数 年10回(3月・10月を除く)

サイズ たて3.6cm×よこ6.1cm

※ 掲載回数は1回からでも結構です